

日本大学松戸歯学部

公開研究

研究題目；睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置治療に関する多施設調査研究
(承認番号 EC16-038)

研究機関・講座（代表）；日本大学松戸歯学部 口腔健康科学講座
顎口腔機能治療学分野（小見山 道）

期間；平成 29 年 3 月 29 日 ～ 令和 4 年 3 月 28 日

意義；

閉塞性睡眠時無呼吸症 (OSA) 患者の治療法は肥満症例に対する減量療法と nasal continuous positive airway pressure や oral appliance (OA) を用いた保存療法が主流です。日本では、2004 年に OSA に対する OA 治療が歯科保険適用となって以来、現在では多くの病院で OA 治療が行われ、治療成績に関する論文も多く公表されています。しかしながら、使用されている治療装置の形態も様々で、患者さんに合わせた調整を行っているかどうか、治療評価がきちんと行われているかなど治療方法は、まちまちなのが現状です。そこで、今回は、各診療施設における OA 治療の現状を調査します。このことにより、OSA 治療の問題点を抽出することができ、より良い治療方法の確立に寄与します。

目的；

大学病院における OSA 治療の現状を多施設で調査し、良い点、悪い点を抽出することにあります。

方法；

診療で取得した情報や検査結果から分析を行います。

ご自身の診療録データを本研究で使われたくない場合はお申し出ください。あなたのデータは個人が特定できないように匿名化して研究に使わせていただきますが、匿名化の前であれば、今後、本研究で使わないようにいたします。匿名化後は、どの研究データがあなたのものかがわからなくなるためご要望にお応えすることはできませんのでご了承の程お願い申し上げます。

問い合わせ・苦情等の窓口；

日本大学松戸歯学部口腔健康科学講座
顎口腔機能治療学分野、代表者：鈴木 浩司
電話番号：047—360—9641